

PB黒字化目標 官邸に撤回提言

自民当選2回議員ら

自民党の若手衆院議員が5日、政府が掲げる基礎的財政収支（プライマリーバランス＝PB）の2020年度の黒字化目標の撤廃を求める提言書を、首相官邸に出した。財政再建の目標を変えて、財政出動をしやすくするためだ。

当選2回の議員を中心とした28人でまとめ、呼びかけ人代表の安藤裕衆院議員が萩生田光一官房副長官に手渡した。提言書では「日本は再デフレ化の危機にあり、日本の後進国化と財政悪化の同時進行を食い止めるには、PB目標の撤廃が必要だ」としている。

PBは社会保障などの政策経費を新たな借金に頼らずにどれだけ賄えるかを示す指標。黒字化には大幅な歳出削減と歳入増が必要になる。提言書はPBの代わりに、債務残高が国内総生産（GDP）比どの程度あるかを示す「債務対GDP比」を重視するよう求めた。

今月閣議決定された経済財政運営の基本方針（骨太の方針）ではPBの黒字化とともに、対GDP比の指標も新たに盛り込まれた。安藤氏は取材に対して、

「公共事業や教育など、日本経済の成長の源泉にお金が回っていない。国債を発行しても経済規模を大きくするべきだ」と語った。